



ユーザー向け

# エンジニア転職 マーケットレポート

2023.09.実施



## エンジニアの平均年収は2023年2月調査時と比較して約20万円UP。 利用言語ではTypeScriptが初めてJavaScriptを超え、年収面や技術面で市場動向の変化を観測

本レポートは、Findyユーザーに対して下記概要のWebアンケートを実施し、集計・分析したのになります。

- 調査目的：エンジニアの転職と働き方に関する意識調査
- 調査期間：2023年8月31日～9月7日
- 分析対象回答数：305
- 調査主体：ファインディ株式会社

### ● 年収・副業に関する調査

- エンジニアの平均年収は、2023年2月時調査の660万円から約20万円アップして682.8万円に
- 転職サービスのプロフィールにある「希望年収」欄に記入する金額について、転職初年度で必ず実現したい金額を記入しているエンジニアは約60%
- 副業経験があるエンジニアは45.2%で、2022年9月調査時より約9%UP
  - 年収別では年収600万円をボーダーに現在副業をしている比率が高くなる傾向がある
- 副業による年間収入の平均は116.8万円

## ● 転職活動に関する調査

- 転職経験があるエンジニアが79.6%で、2023年2月調査時の75.2%より約4%UP
- 転職・退職のきっかけTOP3は「条件・待遇」「スキル・キャリアアップ」「職場環境・人間関係」
- 転職活動における情報収集の手段は「転職メディアの登録・利用」「WEBページの検索」に票が集まり、さらに深く情報収集する場合では「企業ブログやテックブログ」「口コミサイト」「カジュアル面談」「SNSなどの社員の発信」でよりリアルな情報を探る回答が多い
- **複数企業から同額のオファー年収で内定が出ている場合、転職の決め手となる要素として最も重要視されるのは「リモートやフレックスなどの働き方が理想に合う」**
- 転職活動で実現したいこととして、キャリア面では「スキルアップできる環境」「仕事内容がやりたいことかどうか」、働き方面では「リモートやフレックス、裁量労働の希望」、条件・待遇面では「年収UP」が票を多く集めた
- 60%のエンジニアが転職活動で不安を感じており、そのうち56.8%のエンジニアが不安を解消できなかったと回答
  - 不安の具体例で多いものは「自分のスキルレベルの市場価値が不明、どんな企業で活躍できるかわからない」「選考中に把握できない(しにくい)人間関係などでミスマッチがないか」など

## ● 人気企業タイプ、キャリアパスに関する調査

- 転職先として前向きに考える企業タイプで最も多いのは「上場ベンチャー」で56.1%
- 年収別では800万円以上層が外資系志向があり、800万円未満では大企業志向が見られた
- 働いてみたい企業22選、技術力が高い企業22選、注目している企業20選では、Google、メルカリ、Microsoft、Amazon、LINE、サイバーエージェントなどが全てに選出
- 興味のあるキャリアパスは「技術スペシャリスト」が50.5%で最も多く、次点で「組織マネージャー」が17.7%と続く。**2023年2月調査時と比較して「組織マネージャー」が約6%UP、「技術スペシャリスト」が約7%DOWN**

## ● リモートワークに関する調査

- エンジニアの働き方は77.7%がリモートメインで勤務。2023年2月調査時の74.3%から大きな変化は見られない
  - 年収別では年収600万円をボーダーに、フルリモート勤務・リモートメイン勤務の割合が高くなる傾向がある
- 83.3%がリモートメインの働き方を希望し、2023年2月調査時の81.5%に続いてリモートワークニーズは依然高い
  - 年収別では年収600万円をボーダーに、フルリモート希望の割合が高くなる傾向がある
- **フルリモート希望者のうち60.6%が「合理的な出社理由があれば月1-2日の出社は可能」と回答**
  - 「フルリモート以外許容しない」の比率は、年収600万円未満層が600万円以上層よりも高い傾向にある

## ● 技術に関する調査

- 現在利用している言語は「TypeScript」「JavaScript」「Python(Webサービス開発系)」の順に多い。**過去調査と比較してTypeScriptの利用率が初めてJavaScriptを超える結果となった。**
- 今後習得・強化したい言語TOP3は「Go」「TypeScript」「Rust」で2023年2月調査時と同様の結果になった
- JavaScript、TypeScript利用者においては、現在利用しているフレームワークやライブラリ、今後習得・強化したいフレームワークやライブラリにおいていずれも「React」が1位。現在利用しているランタイム、今後習得・強化したいランタイムでは「Node.js」が1位
- 利用言語別平均年収上位は「Python(データ分析・機械学習系)」が792.1万、次いで「Go」が734.1万、「Java」721.1万、「TypeScript」718.2万
- JavaScript、TypeScript利用者のフレームワーク・ライブラリ別の平均年収は「Next.js」が689.0万円、「React」676.1万円、「Vue.js」662.5万円、「jQuery」644.5万円

# 目次 | INDEX

## 1. 基本情報

- 年齢分布
- 雇用形態
- 職種分布
- 役職比率

## 2. 年収・副業

- 年収分布
- 平均年収の推移
- 希望年収
- 副業経験
  - i. 副業経験×年収別
- 副業収入
  - i. 副業収入×年収別
- 副業をやっていない理由

## 3. 転職動向

- 転職回数
- 転職・退職のきっかけ
  - i. 具体例
- 情報収集の手段
- 転職の決め手（年収以外の場合）
- 転職活動で実現したいこと
  - i. キャリア
  - ii. 働き方
  - iii. 条件・待遇
- 転職活動の不安
  - i. 具体例
  - ii. 解消への取り組み

## 4. 注目企業・キャリア

- 興味のある企業タイプ
  - i. 興味のある企業タイプ×年収別
- 働いてみたい企業22選
- 技術力が高いと思う企業22選
- 注目している企業20選
- 興味のあるキャリアパス

## 5. リモートワーク

- リモートワークの現況
  - i. リモートワークの現況×年収別
- リモートワークの希望
  - i. リモートワークの希望×年収別
- フルリモート希望者の出社への考え
  - i. フルリモート希望者の出社への考え×年収別

## 6. 技術

- 使用言語・技術
- 今後習得・強化したい言語
- 言語別平均年収
- JavaScript, TypeScript利用者向け設問
  - i. 使用技術①
  - ii. 使用技術②
  - iii. 習得・強化したい技術①
  - iv. 習得・強化したい技術②
  - v. 技術別平均年収

## 7. 編集後記

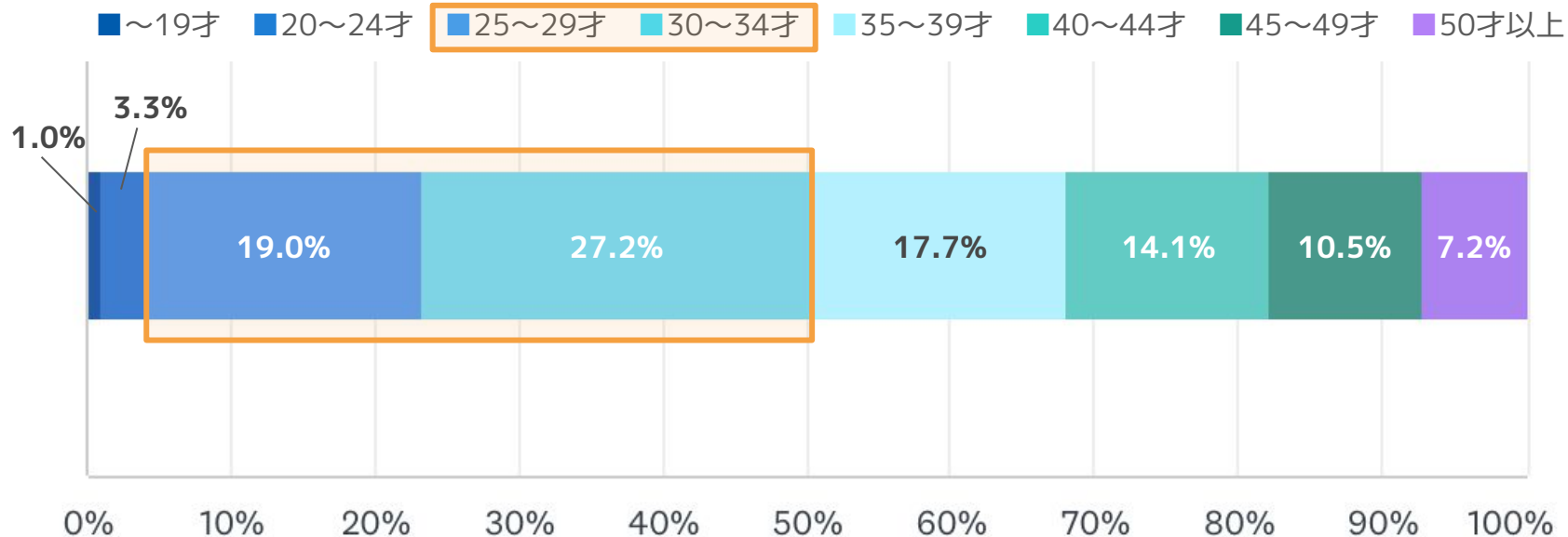
## 01 基本情報



## 年齢ボリュームゾーンは25～34才が46.2%

設問

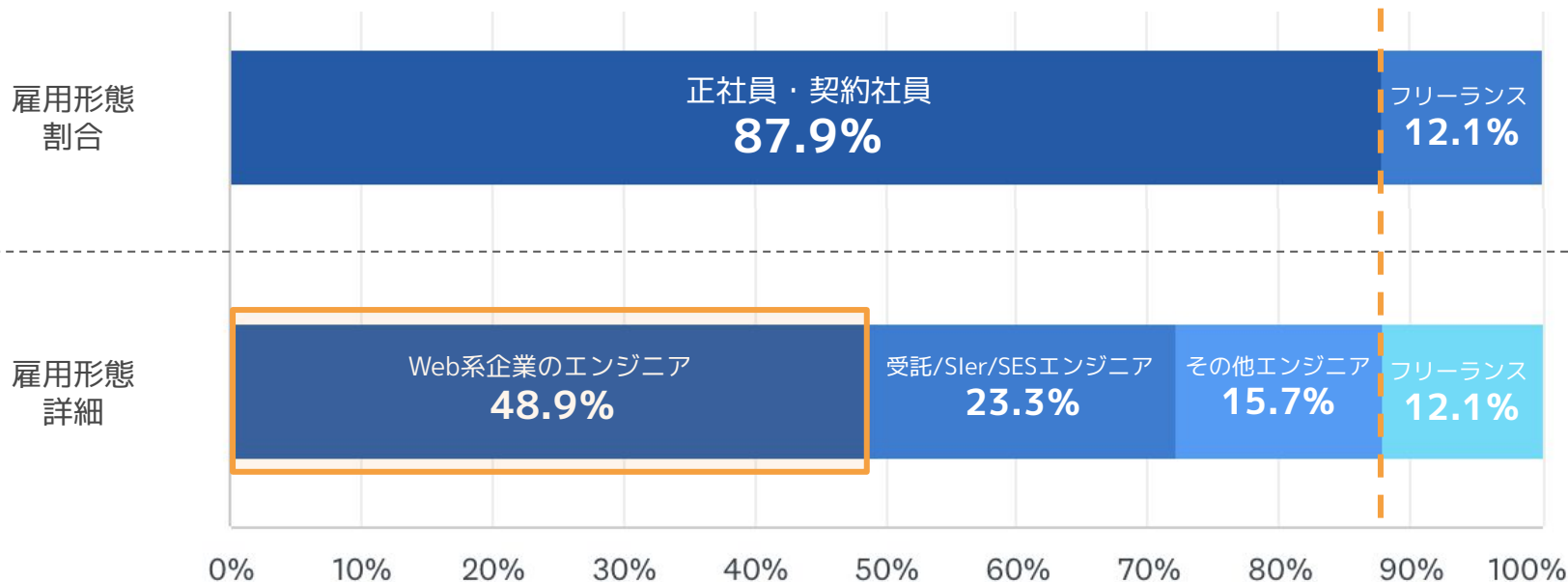
あなたの年齢を教えてください（必須）



## 正社員・契約社員が87.9%。その内、Web系企業のエンジニアの割合は48.9%

## 設問

あなたの所属として当てはまるものを教えてください（必須）





## 職種分布は、バックエンド、フロントエンド、フルスタックの順に多い

### 設問

あなたの現在の職種として、最も当てはまるものをお答えください（必須）

①	バックエンドエンジニア	… 30.2 %
②	フロントエンドエンジニア	… 15.7 %
③	フルスタックエンジニア	… 13.4 %
4	SRE	… 6.2 %
5	iOSエンジニア	… 4.9 %
6	SIエンジニア	… 3.6 %
7	情報システム	… 3.3 %
8	インフラエンジニア	… 3.0 %
9	機械学習エンジニア	… 2.3 %
10	データエンジニア	… 2.0 %

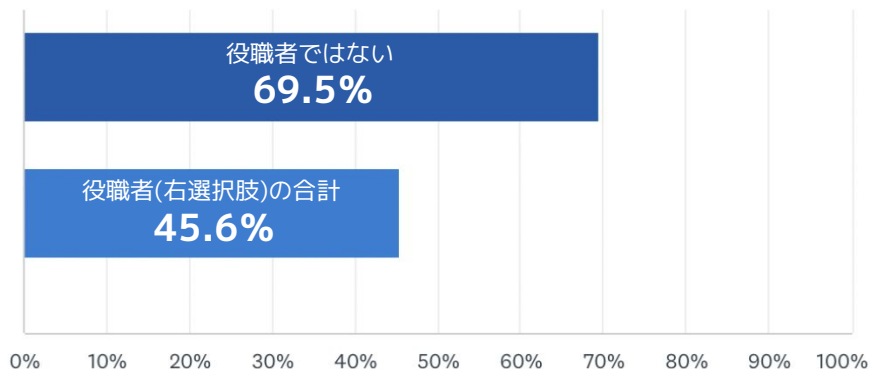
11	ゲーム開発エンジニア	… 1.6 %
12	セキュリティエンジニア	… 1.3 %
12	DevOpsエンジニア	… 1.3 %
12	Androidエンジニア	… 1.3 %
12	QAエンジニア	… 1.3 %
12	データサイエンティスト	… 1.3 %
12	組み込みエンジニア	… 1.3 %
18	テクニカルサポートエンジニア	… 0.7 %
18	データベースエンジニア	… 0.7 %
20	ネットワークエンジニア	… 0.3 %
20	UXエンジニア	… 0.3 %
-	その他	… 3.9 %

## 69.5%が非役職者で、役職者の内訳はテックリード、EM、PjMの順に多い

### 設問

次の役職に該当する方は当てはまるものをお答えください。（必須）

#### 役職者割合 ※複数回答



※上記比率は回答者数ではなく回答数合計を分母としている  
(役職兼務の可能性もあるため、1人が2つ以上の選択肢を回答する場合を含む)

#### 役職者（45.6%）の内訳

①	テックリード(Individual Contributor含む)	14.1 %
②	エンジニアマネージャー(VPoE含む)	8.2 %
③	プロジェクトマネージャー	7.5 %
4	プロダクトマネージャー	5.2 %
5	スクラムマスター	4.3 %
6	CTO・技術顧問	2.3 %
7	CEO	1.3 %
8	採用PM	0.7 %
-	その他	2.0 %

## 02 年収・副業

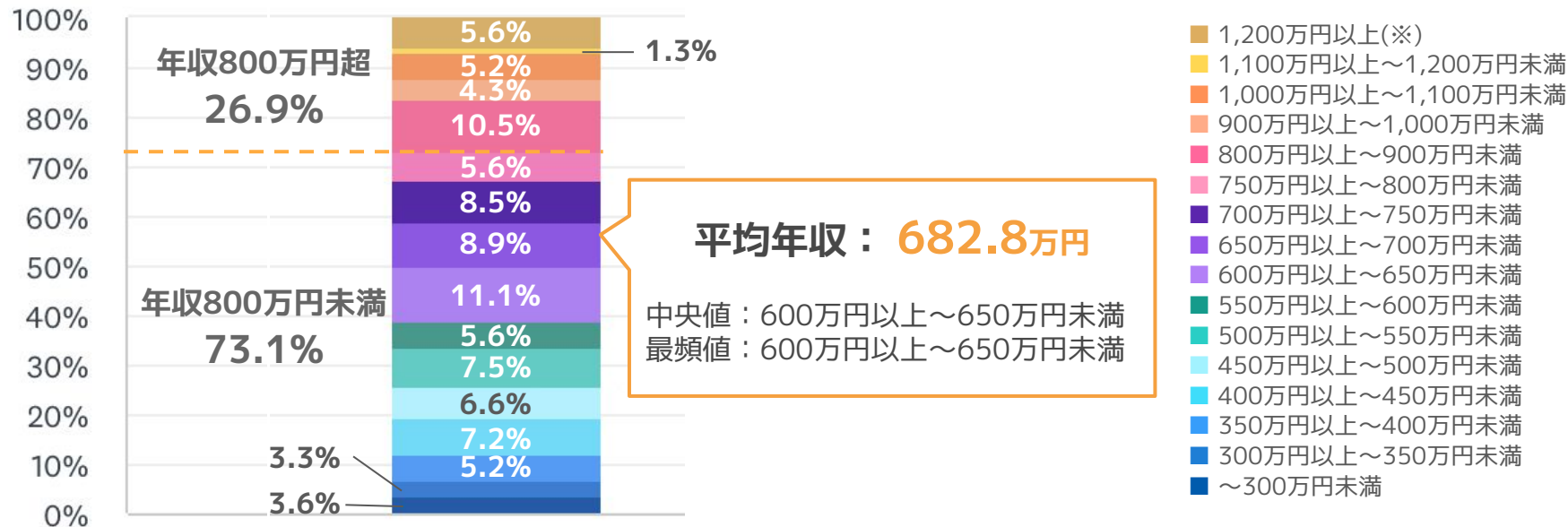


## 年収800万円未満が73.1%、年収800万円以上が26.9%。平均年収は682.8万円

### 設問

現在の年収(本業のみの収入)について当てはまるものをお答えください(必須)

※手取り金額ではなく、額面上の金額をお答えください

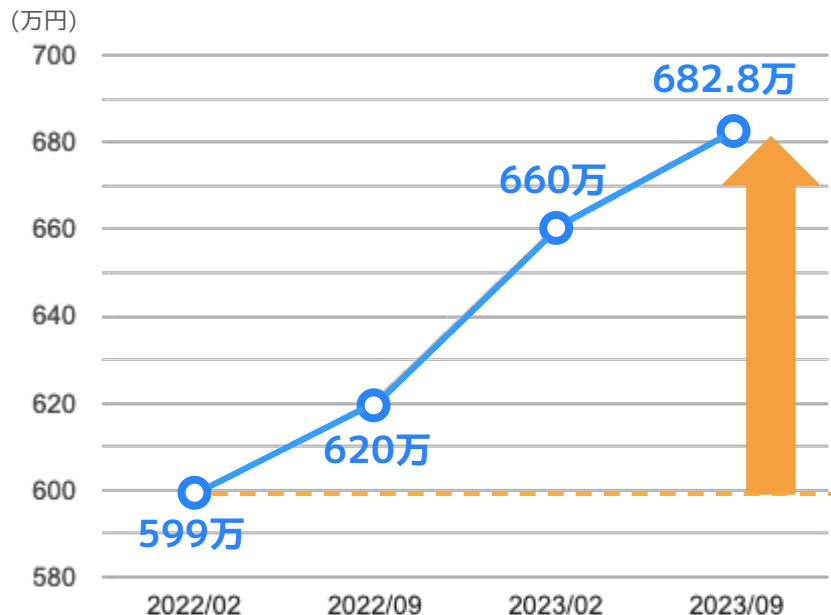


※平均年収は各選択肢別に想定年収を設定(例:300～350万円⇒325万円)して加重平均にて算出。年収1,200万円以上～2000万円以上までは100万円ごとに選択肢を用意したがグラフでは票数を合算して表記

## エンジニアの平均年収は、前回調査時(2023年2月)から22.8万円UP 2022年2月調査時と比較すると83.8万円UPしている

### 設問

現在の年収(本業のみの収入)について当てはまるものをお答えください(必須)  
※手取り金額ではなく、額面上の金額をお答えください



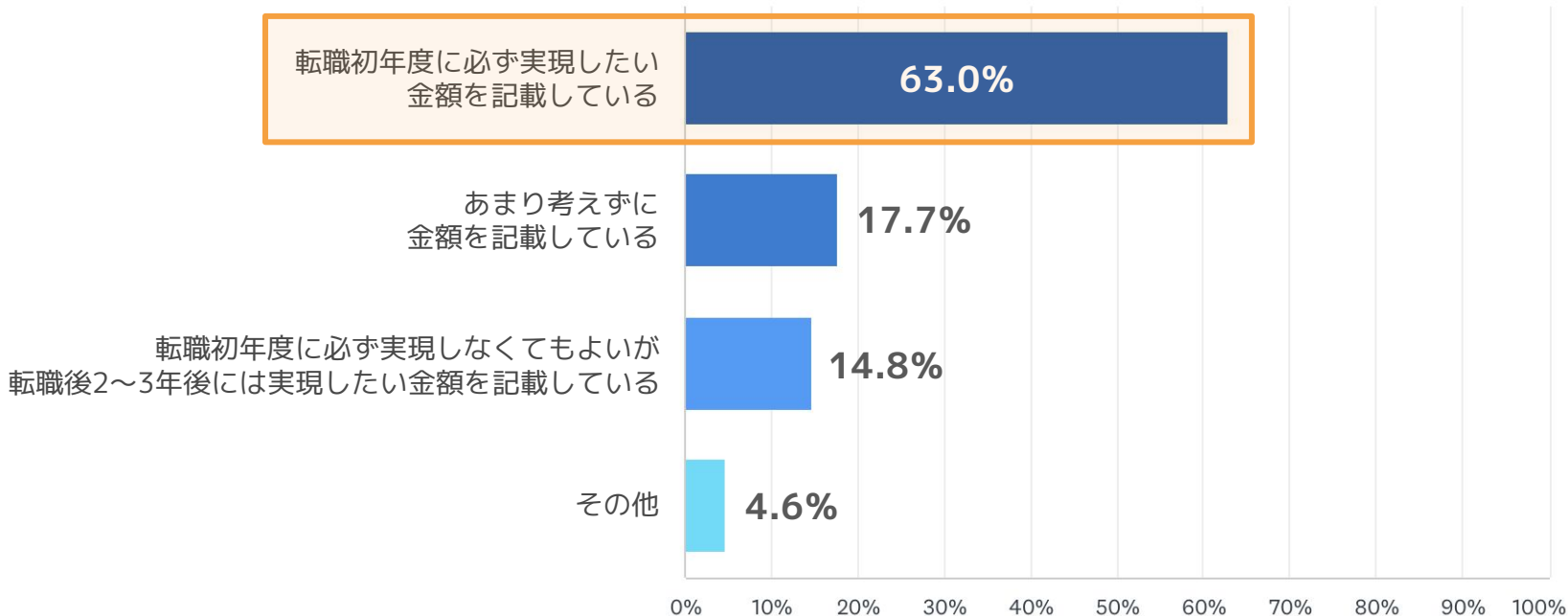
2022年2月から  
**83.8万円 UP**

※過去調査データはいずれもFindyユーザー向けのWebアンケート調査。平均年収は各選択肢別に想定年収を設定して加重平均にて算出

## 転職サービスのプロフィールに記載している「希望年収」の金額について、 転職初年度で必ず実現したい金額を記載しているエンジニアは63.0%

### 設問

転職サービスのプロフィールにある「希望年収」の設定金額について  
あなたの考えに最も当てはまるものを教えてください（必須）



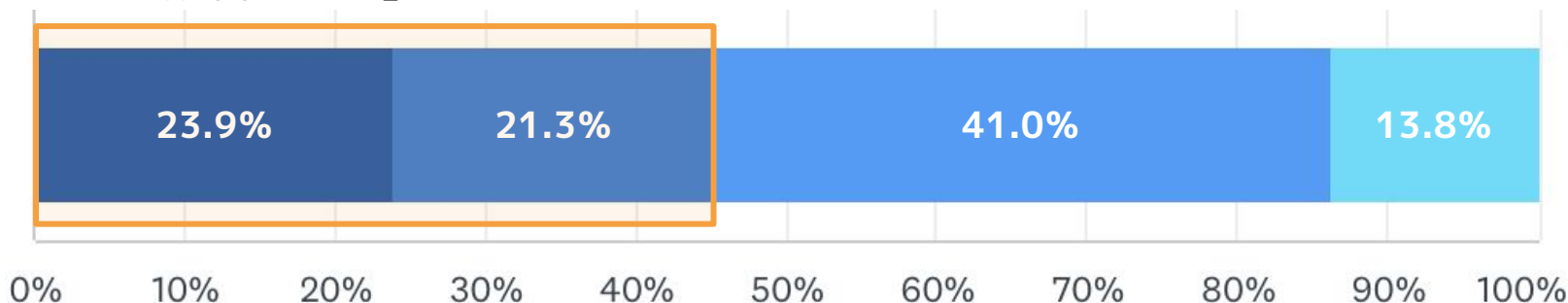
## 45.2%のエンジニアが現在・過去を問わず副業経験がある 2023年2月調査時と比較すると副業経験者は10.3%アップしている

### 設問

副業について、最も当てはまるものを教えてください（必須）

■現在副業をしている ■現在はやしていないが過去に副業経験がある ■副業経験はないが興味はある ■副業経験もないし興味もない

「副業経験あり」が**45.2%**



### 過去調査との比較

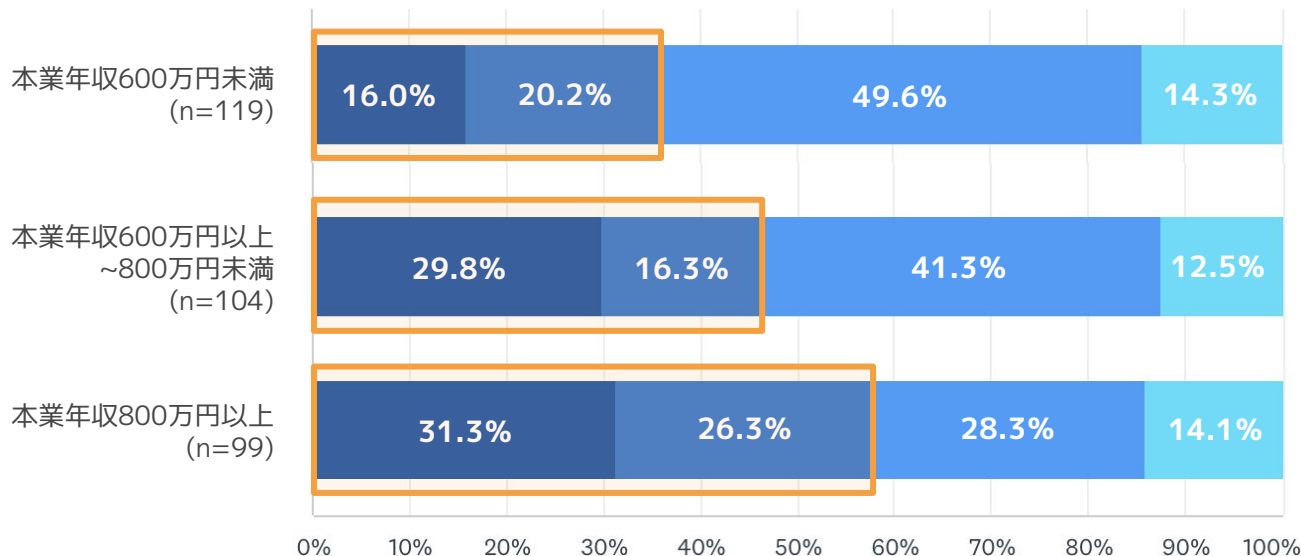
【2023年2月調査】副業経験あり：34.9%  
【2022年9月調査】副業経験あり：36.1%  
【2022年2月調査】副業経験あり：32.0%

## 副業経験比率は本業年収と比例関係にある傾向が見られる 本業年収600万円を超えているかどうかで、現在副業をしている比率が2倍近く変わる

### 設問

副業について、最も当てはまるものを教えてください（必須）

■ 現在副業をしている ■ 現在はしていないが過去に副業経験がある ■ 副業経験はないが興味はある ■ 副業経験もないし興味もない



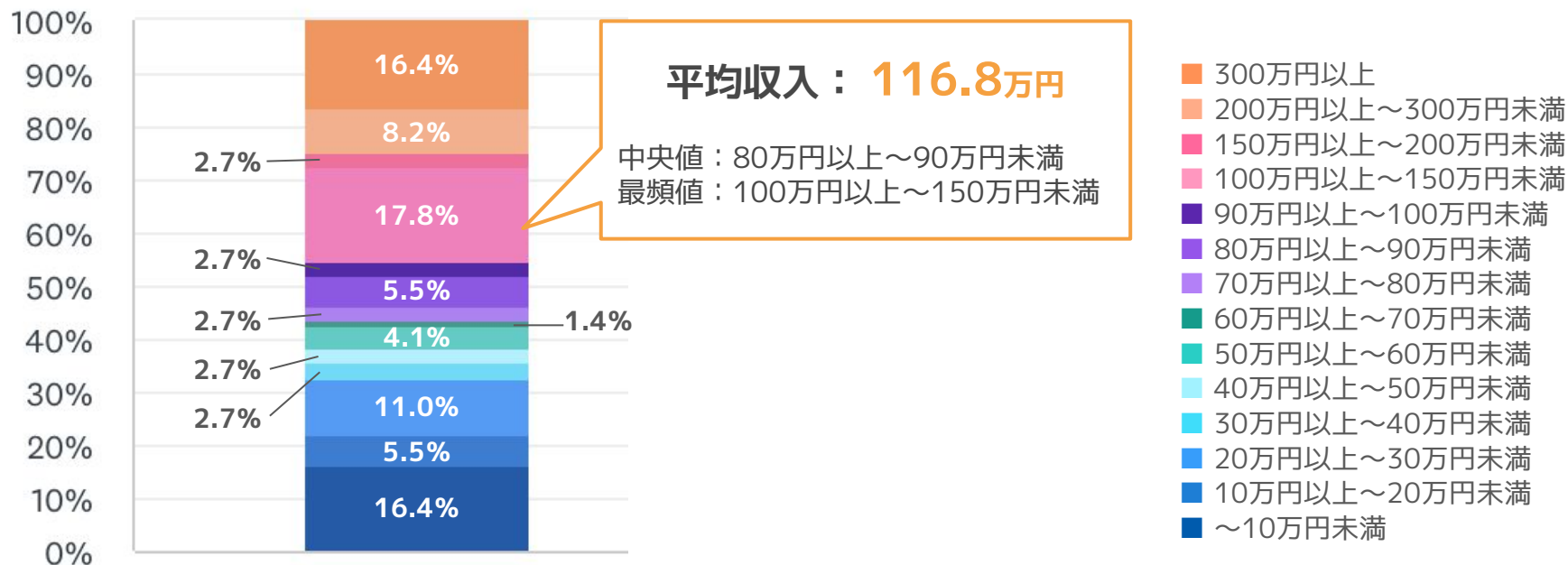
※各年収帯の比率は「現在の年収(本業のみの収入)」について当てはまるものをお答えください(必須) ※手取り金額ではなく、額面上の金額をお答えください」の設問の回答結果をもとに算出



## 現在副業をしているエンジニアの副業収入の平均は年間116.8万円

## 設問

(現在副業をしている方のみ) 副業での年間収入について当てはまるものを教えてください(必須)



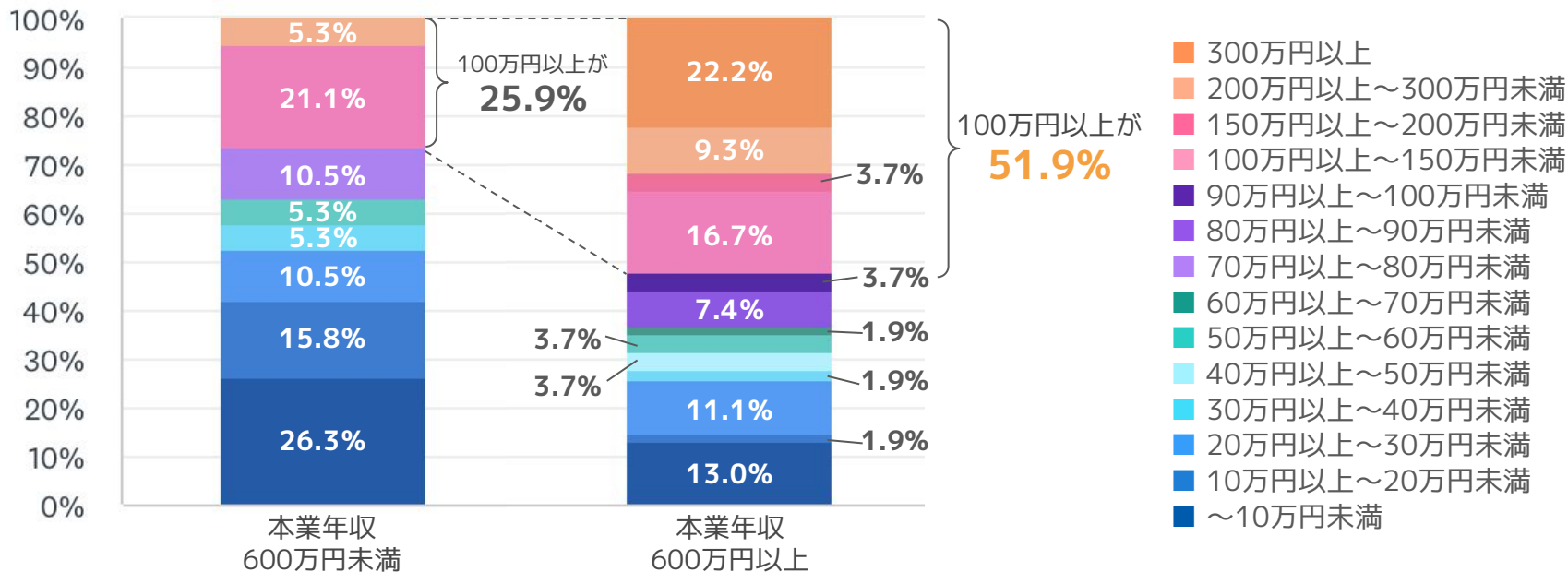
※p15にて「現在副業をしている」と回答した方 (n=73) が対象。平均収入は各選択肢別に想定年収を設定(例:50～60万円⇒55万円)して加重平均にて算出

## 副業での年間収入の平均は年116.8万円

本業年収600万円以上のエンジニアの51.9%が、副業だけで年間100万円以上の収入がある

## 設問

(副業経験がある方のみ) 副業での年間収入について当てはまるものを教えてください(必須)

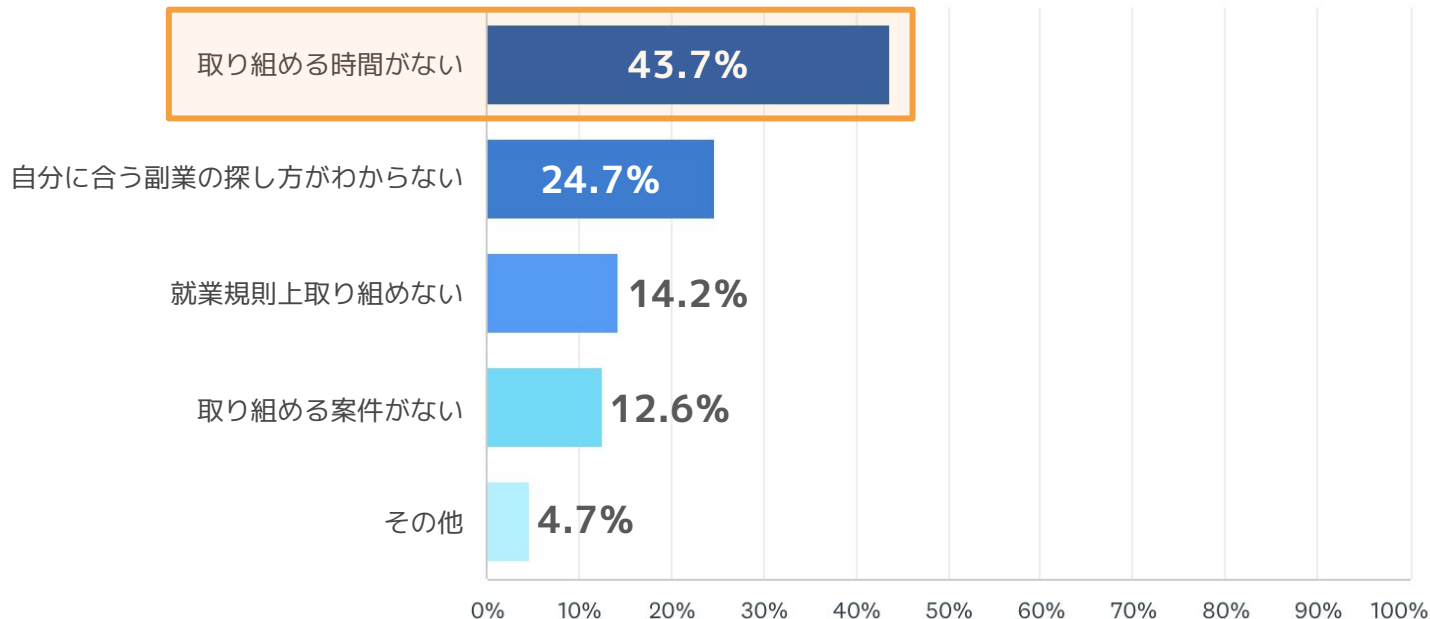


※p15にて「現在副業をしている」と回答した方(n=73)が対象。

## 副業に興味はあるがやっていない(できない)理由のうち最も多いのは「取り組める時間がない」

## 設問

(副業に興味はあるがしたことがない方のみ) 副業をやっていない理由を教えてください(必須)



※p15にて「副業経験はあるが現在はしていない」「興味はあるが副業をしていない」と回答した方(n=190)が対象。

## 03 転職動向



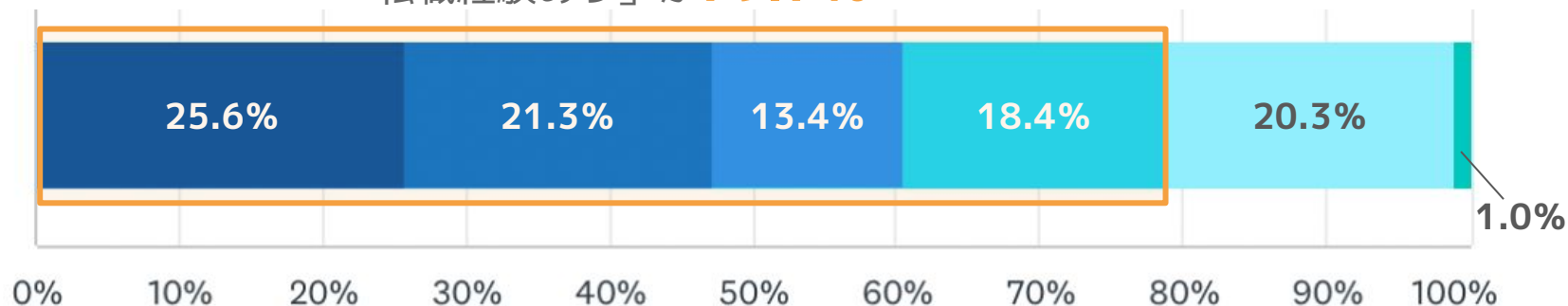
## 79.7%のエンジニアが転職経験あり。過去調査と比較して転職経験者比率は増加傾向にある

### 設問

これまで正社員・契約社員で就業した会社の社数をお答えください。(必須)

■ 2社 ■ 3社 ■ 4社 ■ 5社以上 ■ 1社(転職経験なし) ■ 0社(正社員・契約社員の就業経験なし)

「転職経験あり」が**79.7%**



### 過去調査との比較

#### 【転職経験者比率】

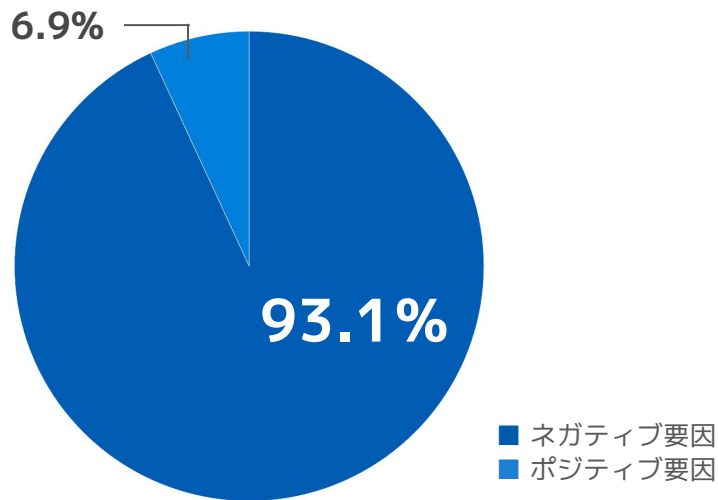
2023年2月：75.2% / 2022年9月：75.6% / 2022年2月：70.0% / 2021年7月：66.0%

TOP3は「条件・待遇」「スキル・キャリアアップ」「職場環境・人間関係」  
上記におけるネガティブな体験が転職・退職のきっかけになっているケースが93.1%を占める

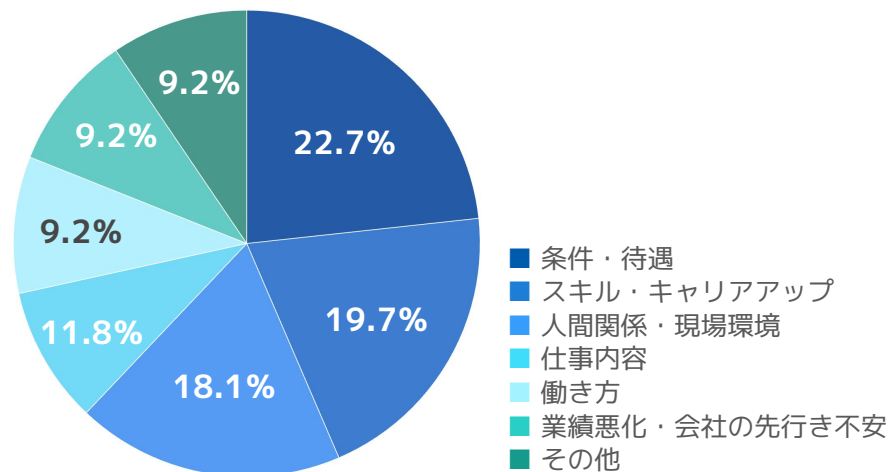
## 設問

転職・退職を決断した具体的な出来事・体験を教えてください(任意、自由記述)

ネガティブ要因 or ポジティブ要因 (有効回答数=203)



カテゴリ別要因 (有効回答数=238)



※グラフの比率は、Findyにて自由回答を分析し、「ネガティブ要因」「ポジティブ要因」および各カテゴリへの分類を実施。回答内容が複数カテゴリに該当する場合は回答数を複数カウントしている。

「これ以上給与が上がる見込みがないと感じた時」「キャリア選択で意志が反映されなかった時」「技術的負債の解消に取り組まないことや開発生産性の低下に影響があった時」などの意見がある

## 設問

転職・退職を決断した具体的な出来事・体験を教えてください(任意、自由記述)

条件・待遇  
(54回答)

- これ以上給与が上がる見込みがないと確信できた時
- 現在の職場でやれることや貢献できることがなくなった時 など

スキル・キャリアアップ  
(47回答)

- 目標としている身近なエンジニアが退職した時
- キャリアパスが閉ざされた時。自身はプレイヤーを継続したかったが、マネジメントをせざるを得ない状況になった など

現場環境・人間関係  
(43回答)

- プログラミングやエンジニアリングにおいて「動けば良い」的な実装が多く、周囲の社員の意識の低さを感じた時
- 上長から価値観を否定するようなコミュニケーションを取られた時。トップダウンで決定されるため意見が言えない
- 新任CTO(エンジニア出身ではない)が入社後に無理矢理スクラムを導入して、開発生産性が異常に落ちて上手く機能しなかったとき。人の入れ替えが激しいので新たに書かれたコードの質が低く、負債解消やクオリティ向上に希望が持てない
- 技術的負債の解消を提案したが上司に否定された時。解消に取り組んだとしても技術的負債の返済に向けた活動が、すぐにフェードアウトしてってしまう時 など

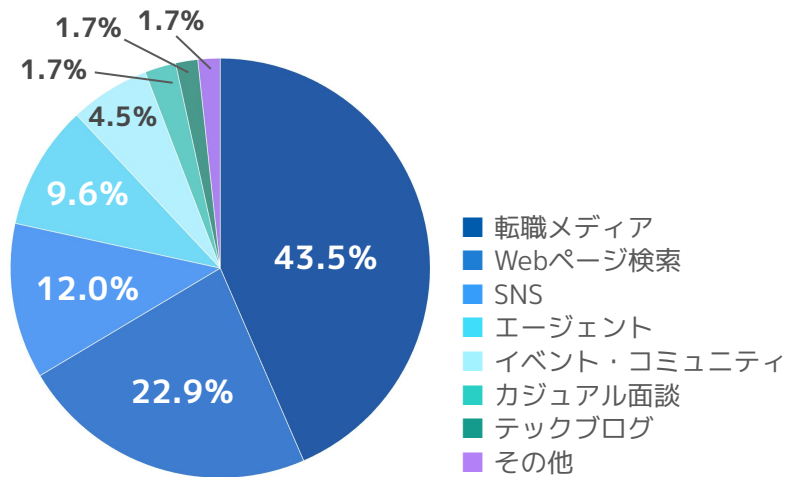
情報収集の手段は「転職メディア」「Webページ検索」に票が集まり、さらに深く調べる場合は「Webページ検索」「企業ブログ」「口コミ」「カジュアル面談」などに票が集まっている

## 設問

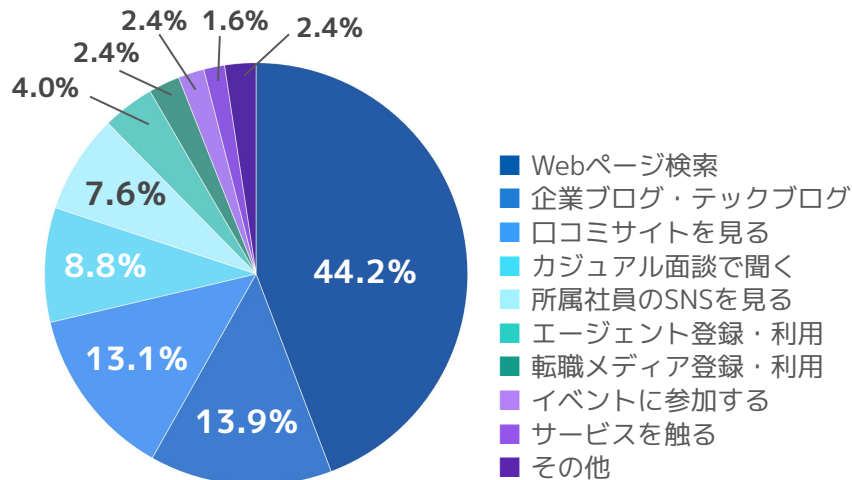
①転職活動における情報収集の手段はどのようにしていますか？

②集めた情報を更に深く調べるときにやることを具体的に教えてください(任意、自由記述)

①情報収集の手段 (有効回答数=292)



②さらに深く調べるときにやること (有効回答数=251)



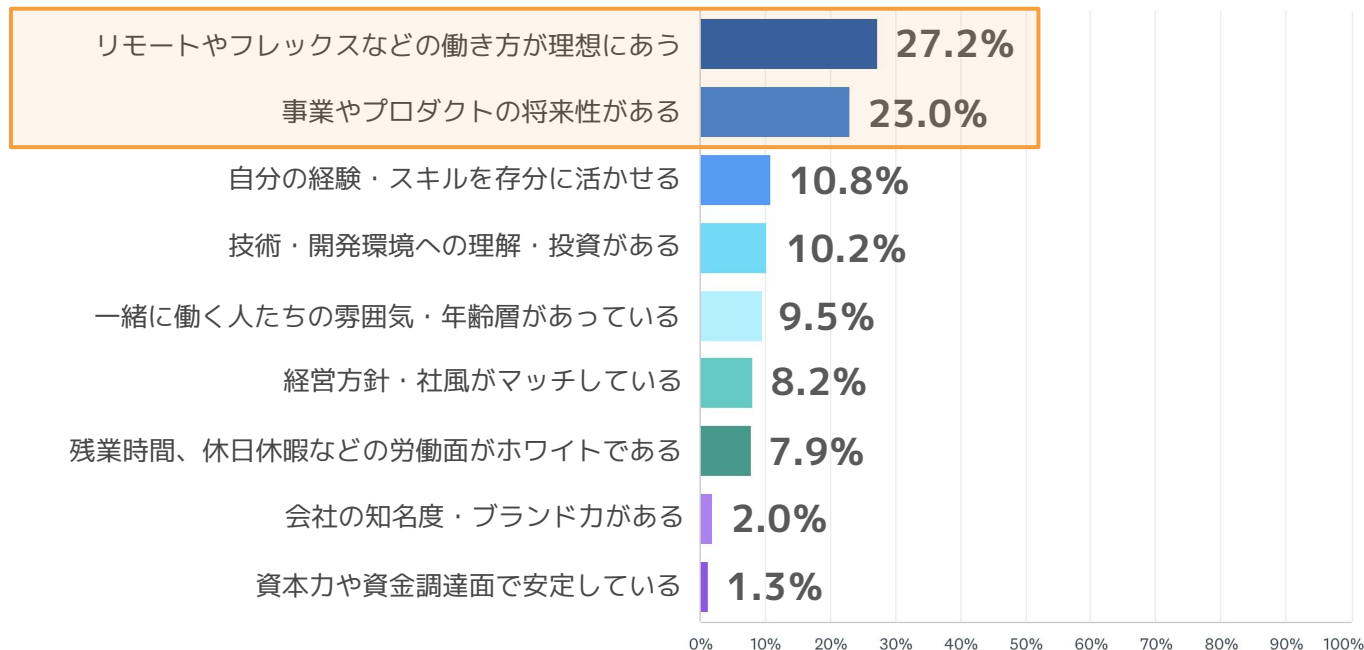
※グラフの比率はFindyにて自由回答を分析し、各カテゴリへの分類を実施。回答内容が複数カテゴリに該当する場合は複数カウントしている。



複数企業から同額のオファー年収で内定が出ている場合、転職の決め手として重要視されるのは「リモートやフレックスなどの働き方」「事業やプロダクトの将来性」が多い

## 設問

複数企業から同額のオファー年収で内定が出ている場合、  
転職の決め手となる要素として最も重要視するものを教えてください。（必須）



独自性の高さ/汎用性の高さ、コードを書き続けたい/マネジメントにチャレンジしたいなど、人によって志向性は様々で、キャリアで実現したいことも多様化している

## 設問

転職活動において、キャリア面で実現したいことを具体的に教えてください(必須、自由記述)

スキルアップ  
(36回答)

- 現職のVPoEという立場は社歴の長い今の環境だからできているポジションだと感じていて、**他の企業へ行ったときにも同じ価値を発揮できるスキルを確立したい**
- 技術的な成長が見込める環境かどうか（優秀な人材がいる、モダンな技術スタックを採用しているなど）
- **独自性の高いキャリアを目指したい**。一般的でなくとも顧客の強みとなる技術について知見を持つ など

仕事内容  
(35回答)

- 大小問わず「仕組み」を作るような仕事がしたい。そこにどのような技術が必要かはあまり重視していないので、今あるスキルが活かせなくても構わないと考えている
- アーキテクトやインフラのロールであっても**必ずプログラマとしてコードを書く業務ができること**
- PdMを目指したいので、**足りない技術をキャッチアップしながらPdMに近い業務に携わりたい** など

役職・キャリアパス  
(32回答)

- 会社に**ICのキャリアパスがあり、技術面でよりスキルアップを目指せる環境があるか**。コード面のスペシャリストとして評価されること
- 転職を契機にEMやPdMに挑戦したい。**SIerでPL/PMみたいなキャリアを辿ってきた人にやれるものなのか正直色々見てもよくわからない**
- 30歳までにテックリード、またはそれに近い経験をして30歳前半にPdMにキャリアチェンジをする など

※Findyにて自由回答を分析し、各カテゴリへの分類を実施。()内の回答数については、回答内容が複数カテゴリに該当する場合は複数カウントしている。

ほとんどが「働く時間や場所に制限がないこと」の実現を希望している  
一概に「絶対にリモートじゃないと嫌」ではなく、多様性の尊重を求める回答も一定数見られた

## 設問

転職活動において、働き方の面で実現したいことを具体的に教えてください(必須、自由記述)

働く時間や場所に  
制限がない  
(108回答)

- フルリモートワークが理想だが、出社が必要であればリモートと出社をバランスよく取り入れたい
- リモートワークやフレックス勤務などは現在も実現できているので維持前提で考えている
- リモートワークが主でたまに集まるような働き方
- リモート勤務や家賃補助での出勤時間の短縮などによる最大限パフォーマンスが発揮できる環境で、裁量労働などの裁量のある働き方。また、働き方ではなく成果だけで実績が判定される体制
- フルリモート、フレックス、週5にこだわらないような働き方。時間や場所など自由であるほうが豊かな人生を送れると感じる。また、収入を増やそうと思えば増やせる機会のある働き方も良いと思う など

残業少なめ  
プライベートの時間確保  
(19回答)

- 残業時間が基本的に月20時間以内でエンジニアのリソース管理が仕組み化されていること
- 一時的にリリースや障害で勤怠が荒れること、自分の意思でやるべきだと思って稼働が膨れることは問題ないが、深夜まで残業させたり勤怠を隠して土日稼働しなければ実現できないような無理な計画をしていない会社で働きたい。稼働が膨れて睡眠時間もまともに取れない状況ではなく、スキルアップするための自分の時間を取れること
- 定時退社と長時間残業のメリハリをつけたい。有給休暇は全消化しなくても構わないが、ここぞの時はいつでも使える雰囲気のある組織だとありがたい など

※Findyにて自由回答を分析し、各カテゴリへの分類を実施。()内の回答数については、回答内容が複数カテゴリに該当する場合は複数カウントしている。

年収面で実現したい内容が多数。適切な評価制度や「あなただからこの金額できてほしい」など年収の金額が決まる理屈や提示されたオファー年収に納得感を求める声も一定数見られた

## 設問

転職活動において、条件・待遇面で実現したいことを具体的に教えてください(必須、自由記述)

年収  
(98回答)

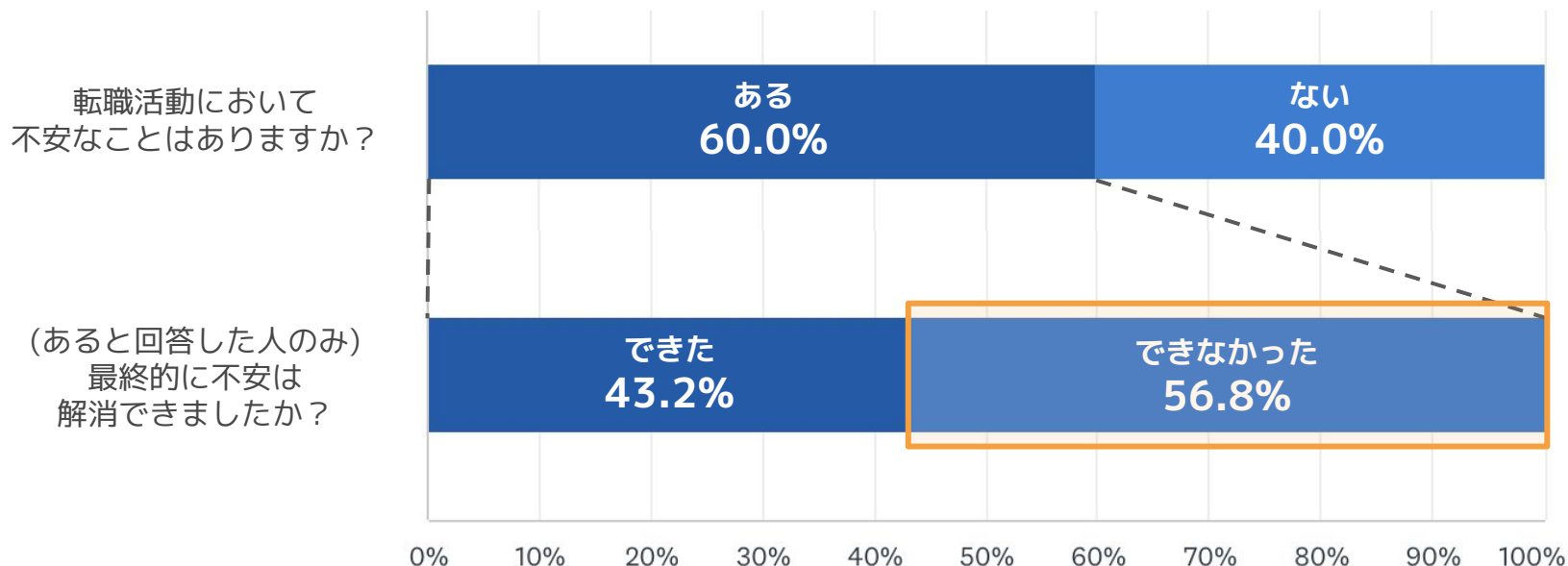
- 希望年収で**適切な評価制度がある**こと
- 年収についての希望は現年収以上、理想は現年収より+30%上がる
- 日本では「この職種は相場でこれぐらいの給与だから」という考えをして「本当にこの人を採用したい!」というような考えが少ない。**特別扱いしてでもこの人を採用したいという感じがなければ、自分が行く必要がないし行かない**。外資系は本当に良い人材を確保しようとしてくるので。
- お金は多いほど嬉しい。勉強したいことは無限と思えるほどあり、お金があるほど効率が良いため。外資の話でよく聞く収益が分配される方式があるとやる気が出そう
- 理想的なキャリアを歩める環境があったとしても、年収が下がることは避けた**い
- できるかぎり配属先チーム内で待遇面の差がないこと。待遇・評価がチーム目標を前提としていることで、目標が個々人に細分化されすぎていないこと など

※Findyにて自由回答を分析し、各カテゴリへの分類を実施。()内の回答数については、回答内容が複数カテゴリに該当する場合は複数カウントしている。

## 60%のエンジニアが転職活動に不安を感じていて、そのうち56.8%が不安を解消できていない

### 設問

転職活動において不安なことはありますか？(必須)  
(あると答えた方に聞きます) 最終的に不安は解消できましたか？



転職活動の不安で回答が多かったのは「自分のスキルレベルの市場価値が不明、どんな企業で活躍できるか」「選考中に把握できない(しにくい)人間関係などでミスマッチがないか」など

## 設問

(あると答えた方のみ) 具体的に不安なことはどんなことですか?(必須、自由記述)

スキル面で不安  
(42回答)

- 自分の技術力がどこまで通用するか、転職先でマッチするかがわからない
- **市場評価より高い給料をもらっている気がするので、スキルのいまま転職すると給料が下がりそう** など

希望条件が合うか  
(40回答)

- 希望条件に合う転職先が見つかるか
- 年収を上げられるか?労働環境の良い会社にいけるか? など

入社後に活躍できるか  
(29回答)

- 入社した後にミスマッチだと感じないかどうか。**実際に入社してからじゃないとわからない(orわかりにくい)情報を事前に知ることができない**
- **オファー時に期待されていた役割と入社時に違いはないか** など

社風・人間関係  
(25回答)

- 転職先での人間関係が合うかどうか。**面談や面接で話を聞いているだけで把握できるのか不安**
- 技術文化のマッチやカルチャーに馴染めるかどうか など

※p30で「不安がある」と回答した方を対象(n=183)。Findyにて自由回答を分析し、各カテゴリへの分類を実施。()内の回答数については、回答内容が複数カテゴリに該当する場合は複数カウントしている。

不安解消のために、カジュアル面談などで実際に聞いてみることを実践している方やスキル面での不安を補うために自己研鑽でスキルアップを図る方が多く見受けられる

## 設問

(あると答えた方のみ) 不安解消のために具体的に何に取り組みましたか？(必須、自由記述)

企業の社員と話す  
面談/面接で聞く  
(56回答)

- **カジュアル面談で気になることは臆せずを確認する**
- 面談などの段階で所属するチームの様子を伺ったり、現在の課題を確認して自分が解決できそうか検討したりした など

自己研鑽して  
スキルアップを図る  
(40回答)

- トレンドの言語やフレームワークを使ってみる
- **自身の経験したプロジェクトやその時使用したスキルをリストアップしておく**
- **業務で使わない技術に触れたり、技術面以外のコーチングやスクラム開発などの知識を学んでいる** など

情報収集する  
(29回答)

- **その企業のブログを読んだり、様々な転職サイトの求人を見たりして、情報にばらつきがないかを調べる**
- 企業評価サイトや口コミサイトなどで事前に情報を収集する
- 技術系のイベントへ参加してSNSでアピールなど人脈形成に取り組む など

※p30で「不安がある」と回答した方を対象(n=183)。Findyにて自由回答を分析し、各カテゴリへの分類を実施。()内の回答数については、回答内容が複数カテゴリに該当する場合は複数カウントしている。

## 04 注目企業・キャリア

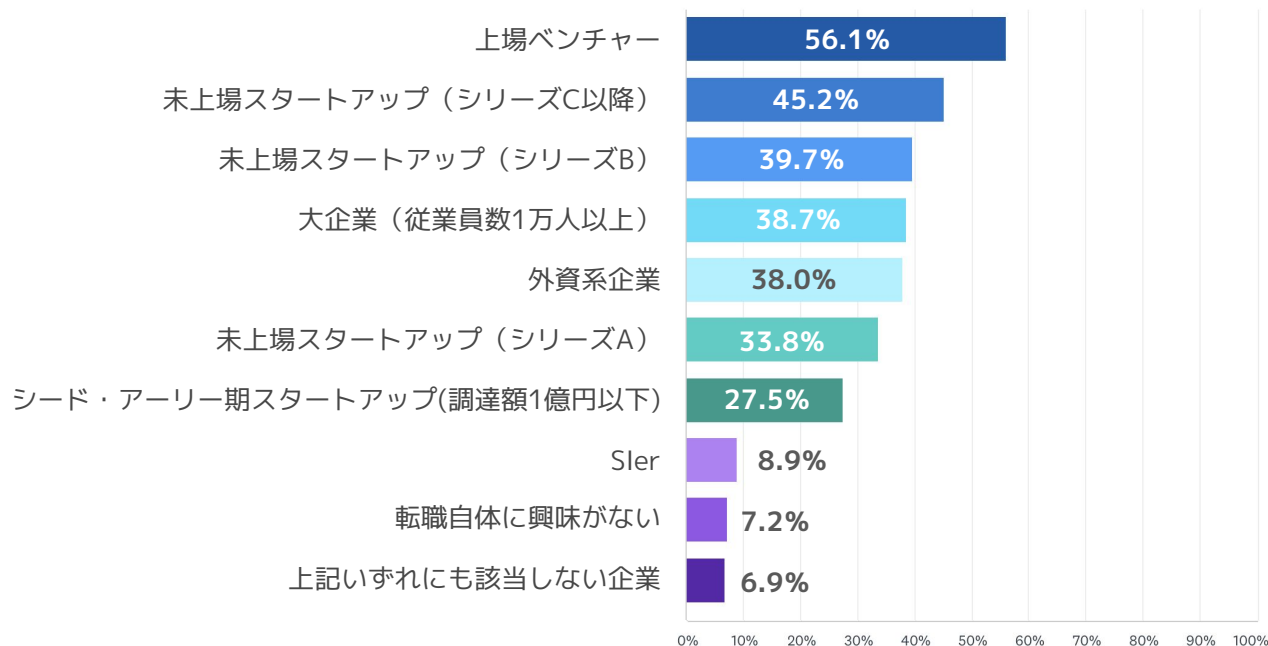




上場ベンチャー人気が最も高く、未上場スタートアップではシリーズC以降・シリーズBが人気、次いで大企業、外資系企業の順に人気を集めている

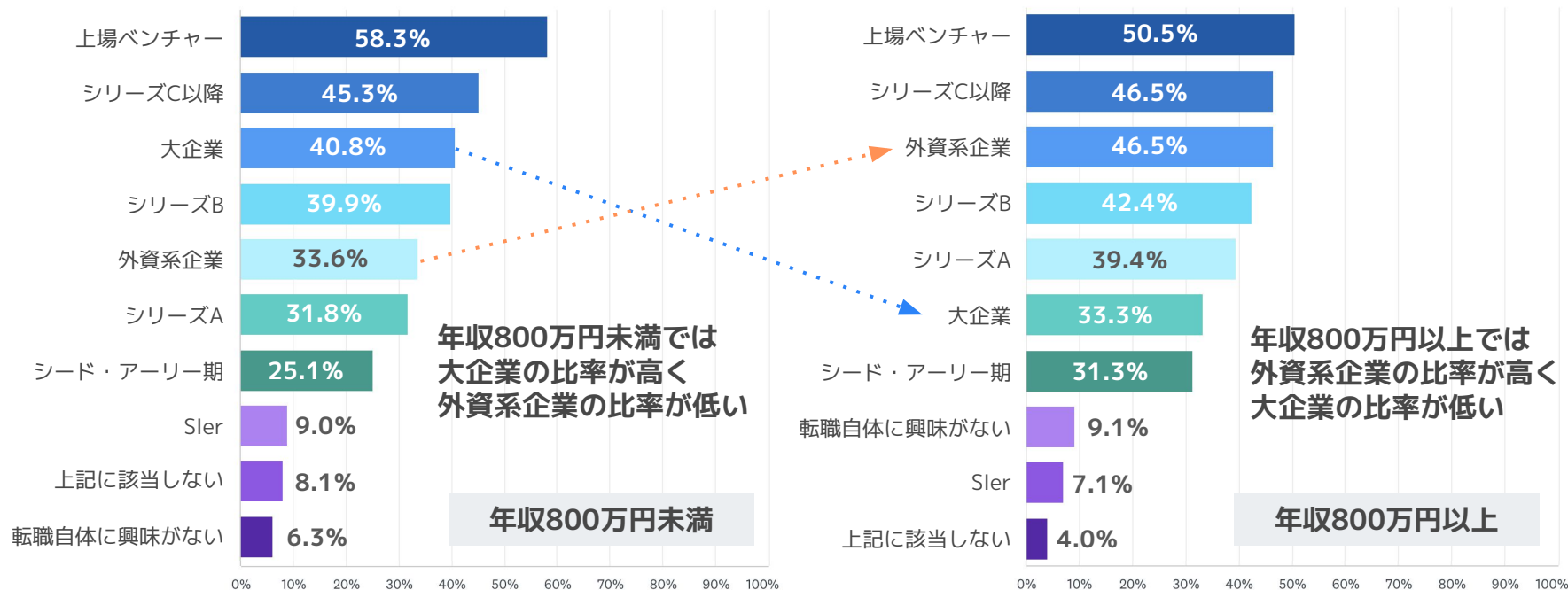
## 設問

転職先として前向きに考える企業タイプとして  
あてはまるものを全て答えてください(必須、複数回答可)



年収800万円以上層と800万円未満層で比較すると、  
年収800万円未満では大企業の比率が高く、年収800万円以上層では外資系企業の比率が高い

**設問** 転職先として前向きに考える企業のタイプとして、あてはまるものを全て答えてください。(必須)



Google、Amazon、Microsoftなどの外資企業が2023年2月調査時に続いて人気を集めている日本企業では、メルカリなどのメガベンチャーやLayerXなどのSaaS企業が人気傾向にある

## 設問

働いてみたいと思う会社を具体的に3社あげるとしたらどの会社ですか？(必須)

## 2023年下半期 エンジニアが働いてみたい企業 22選



働いてみたい企業でもランクインしていた企業が多数選出

ChatGPTで話題を席巻したOpenAI、Preferred NetworksなどのAI関連企業も選出されている

## 設問

技術力が高いと思う会社を具体的に3社あげるとしたらどの会社ですか？(必須)

## 2023年下半期 エンジニアが選ぶ技術力が高い企業 22選

Amazon

Amazon Web Services(ジャパン含む)

Apple

freee

Google

LayerX

LINE

Meta

Microsoft(日本法人含む)

OpenAI

Preferred Networks

ZOZO

サイバーエージェント

サイボウズ

ディー・エヌ・エー

任天堂

クラスメソッド

マネーフォワード

メルカリ

ヤフー

リクルート

ゆめみ

働いてみたい企業、技術力が高いと思う企業にランクインしていた企業が多数選出  
上記2つでは名前が挙がっていなかった企業では、GOやタイミー、NVIDIAなどが選出されている

## 設問

いま注目している会社を具体的に3社あげるとしたらどの会社ですか？(必須)

## 2023年下半期 エンジニアが注目している企業 20選

Amazon

Amazon Web Services(ジャパン含む)

Apple

freee

GO

Google

LayerX

LINE

Meta

Microsoft(日本法人含む)

NVIDIA

OpenAI

SmartHR

10X

サイバーエージェント

サイボウズ

タイミー

ディー・エヌ・エー

メルカリ

ヤフー

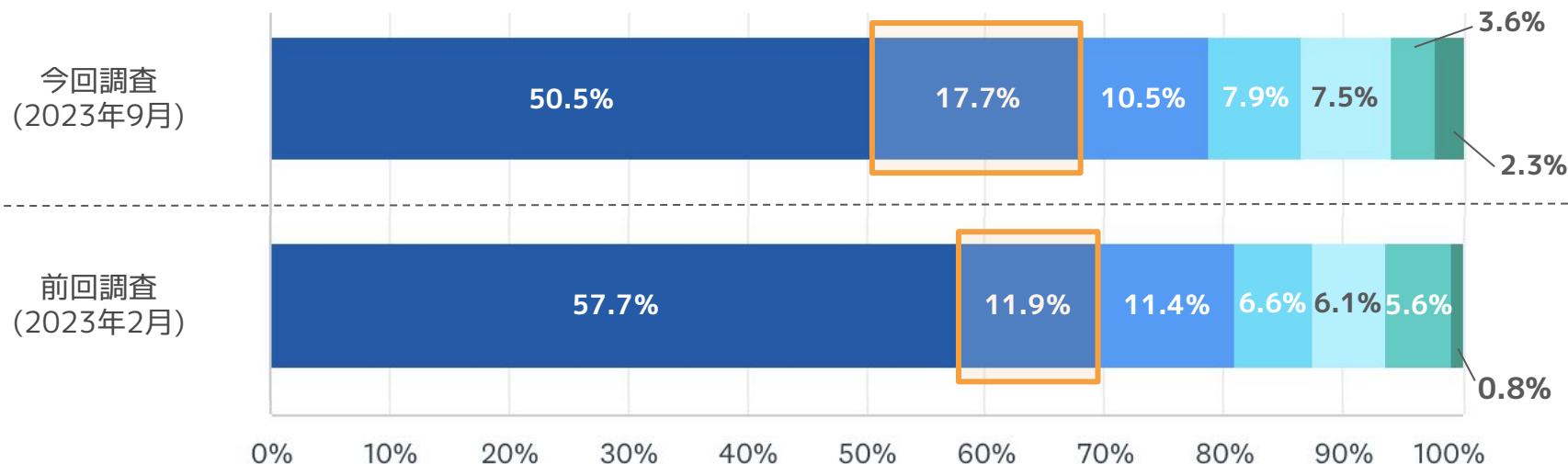
「技術スペシャリスト」が49.8%で断然人気である傾向は変わらない一方、  
前回調査(2023年2月)時と比較して「組織マネージャー」の比率が5.8%上昇している

## 設問

どのようなキャリアパスに興味がありますか？最もあてはまるものを選んでください(必須)

■技術スペシャリスト ■組織マネージャー ■プロダクトマネージャー ■エンジニアの知見を生かした別の職種 ■起業 ■分からない ■その他

※選択肢詳細：技術スペシャリスト（例：CTO・テックリードなど、“エンジニアスキルを磨き続けて極めたい”）、組織マネージャー（例：VPoEやエンジニアマネージャーなど、“エンジニアチームを統括する役割へのステップアップに興味がある”）、プロダクトマネージャー（例：CPO・PMなど、“サービスの戦略・開発・マーケティングなどの意思決定を担う役割へのステップアップに興味がある”）、エンジニアの知見を生かした別の職種（例：セールスエンジニア、プリセールスなど“顧客と自社エンジニアを繋ぐ役割に興味がある”）



## 05 リモートワーク

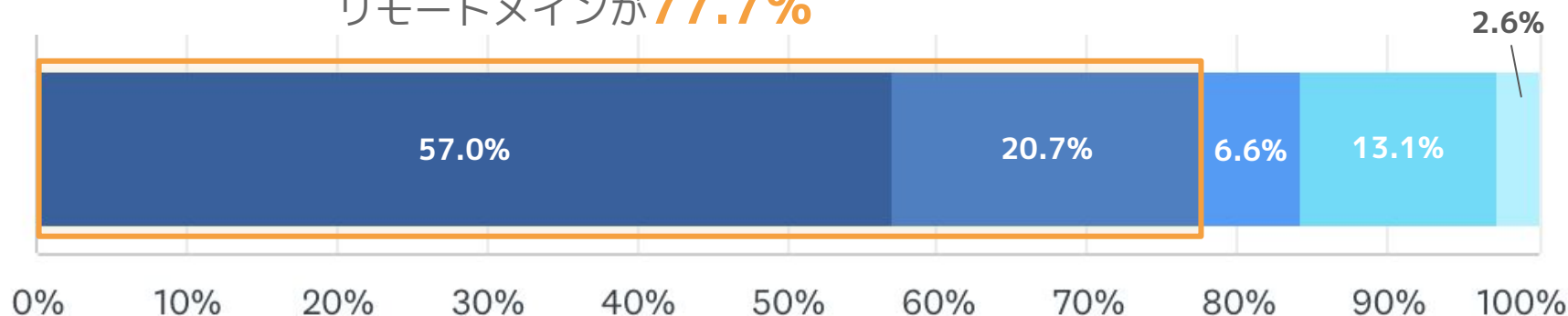


## 57.0%がフルリモート、週1-2日出社が20.7%で、合計77.7%がリモートメインで勤務

## 設問

現在のご自身の勤務状況について、当てはまるものを選んでください（必須）

■フルリモート ■週1-2日程度出社 ■週3-4日程度出社 ■週5日でオフィス出社 ■当てはまるものはない

リモートメインが**77.7%**

## 過去調査との比較

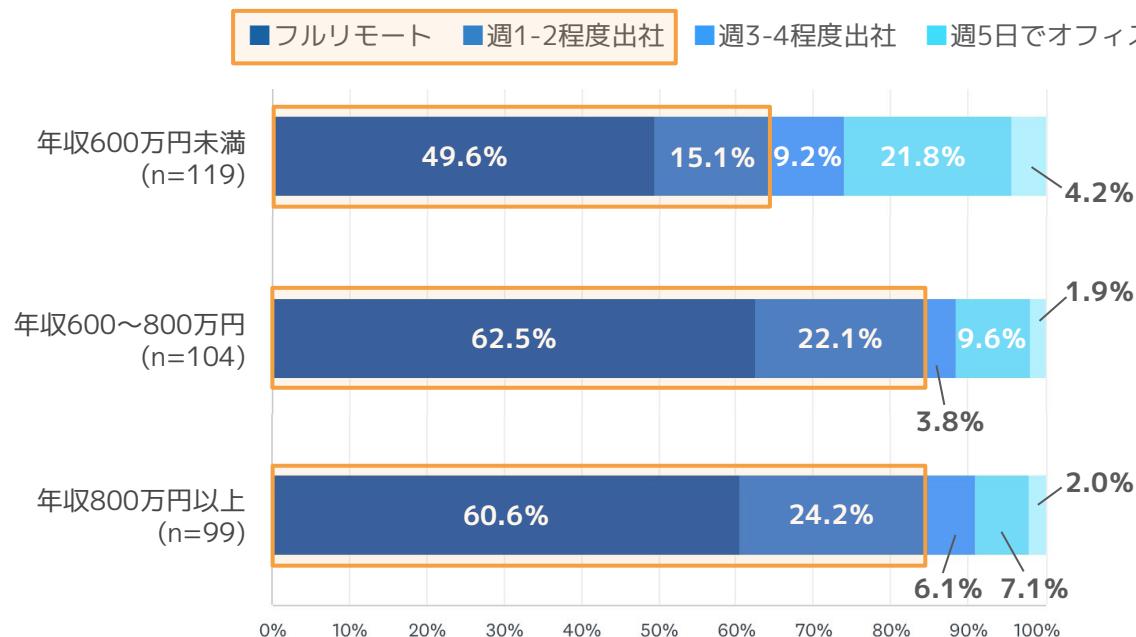
【2023年2月調査】フルリモート:54.7%、週1-2日程度出社:19.7%、週3-4日程度出社:9.1%、週5日出社:12.9%  
【2022年9月調査】フルリモート:62.4%、週1-2日程度出社:19.2%、週3-4日程度出社:10.0%、週5日出社:8.2%



## 年収600万円をボーダーにフルリモート勤務・リモートメイン勤務の割合が高くなる傾向がある

## 設問

現在のご自身の勤務状況について、当てはまるものを選んでください（必須）



## 過去調査との比較

【2023年2月調査】フルリモート率

- ・年収600万円未満：44.3%
- ・年収600～800万円：59.0%
- ・年収800万円以上：70.4%

【2022年9月調査】フルリモート率

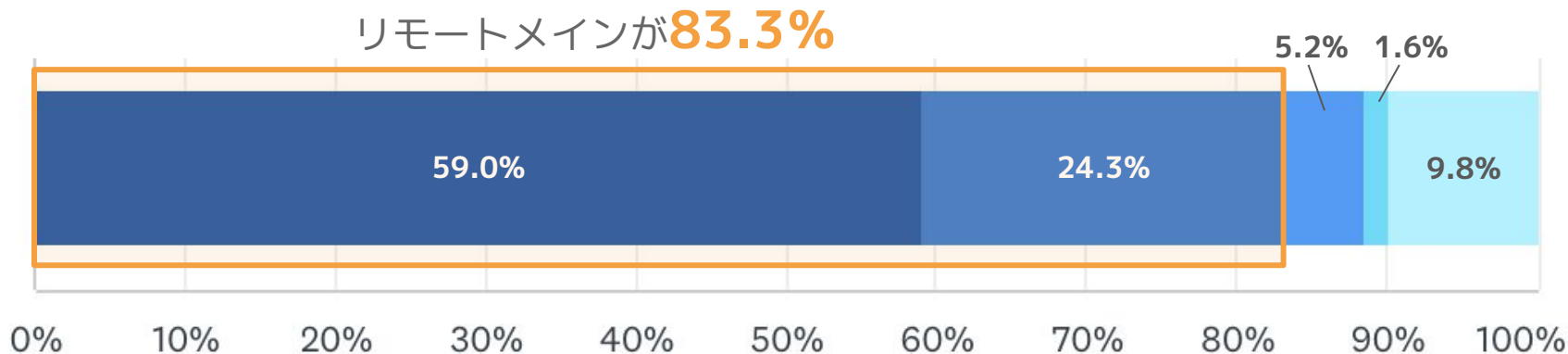
- ・年収600万円未満：55.6%
- ・年収600～800万円：63.9%
- ・年収800万円以上：77.5%

年収800万円以上のフルリモート率が  
2022年9月から2023年9月の1年間で  
約17%下がっている(77.5%→60.6%)

59.0%がフルリモート希望、週1-2日出社希望が24.3%で合計83.3%がリモートメインを希望  
リモートワークを希望する比率は過去調査から依然高い傾向が続いている

**設 問** 転職に対するリモートワークへの考え方について、最も当てはまるものを教えてください（必須）

■フルリモートが良い ■週1-2日程度出社が良い ■週3-4日程度出社が良い ■週5日でオフィス出社が良い ■こだわらない

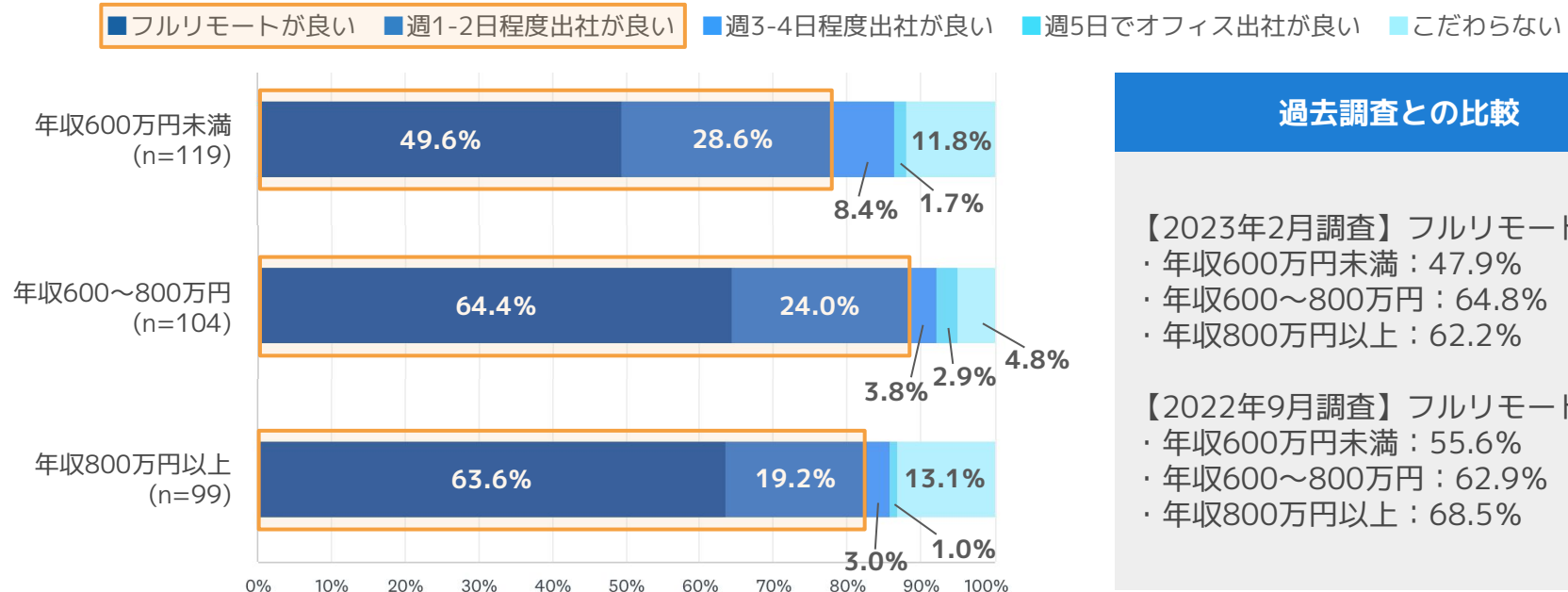


過去調査  
との比較

【2023年2月調査】フルリモ希望:55.9%、週1-2日希望:25.6%、週3-4日希望:5.8%、週5日希望:2.1%  
【2022年9月調査】フルリモ希望:60.2%、週1-2日希望:24.1%、週3-4日希望:3.2%、週5日希望:2.2%

## 年収600万円以上からフルリモート希望の比率が高くなる傾向がある リモートメイン希望が最も強いのは年収600～800万円未満層

**設問** 転職に対するリモートワークへの考え方について、最も当てはまるものを教えてください（必須）



### 過去調査との比較

【2023年2月調査】フルリモート希望

- ・ 年収600万円未満：47.9%
- ・ 年収600～800万円：64.8%
- ・ 年収800万円以上：62.2%

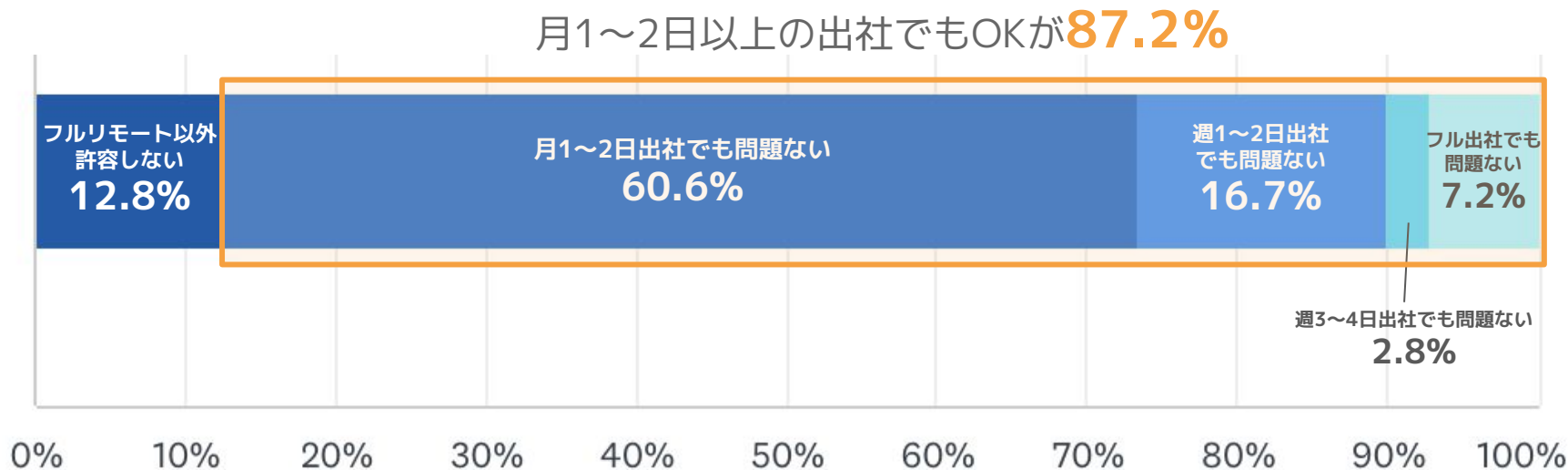
【2022年9月調査】フルリモート希望

- ・ 年収600万円未満：55.6%
- ・ 年収600～800万円：62.9%
- ・ 年収800万円以上：68.5%

## 合理的な出社理由がある場合、フルリモート希望でも87.2%が月1～2日以上の出社を許容

### 設問

(フルリモート希望と回答した方のみ) 合理的な出社理由がある場合の出社への考えとして最も近いものを教えてください(必須)

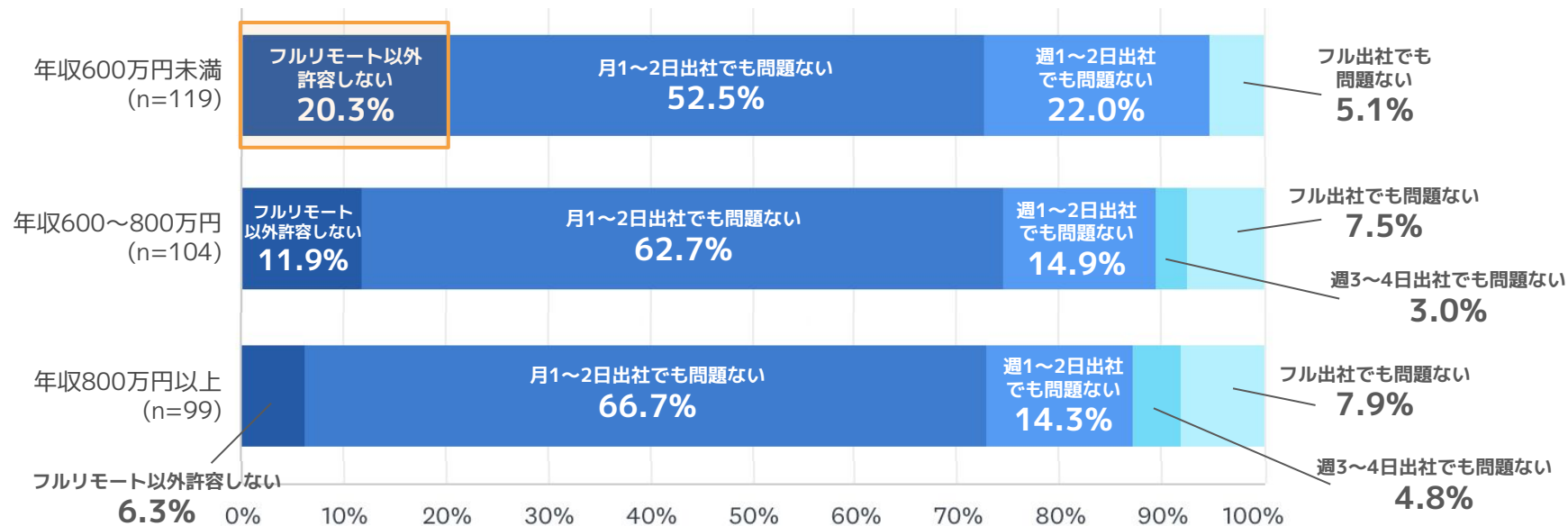


※p42で「フルリモート希望」と回答した方を対象(n=180)

## 「フルリモート以外許容しない」の比率は、年収600万円未満層が最も高く20.3%

## 設問

(フルリモート希望と回答した方のみ) 合理的な出社理由がある場合の出社への考えとして最も近いものを教えてください(必須)



※p42で「フルリモート希望」と回答した方を対象(n=180)

## 06 技術


























TypeScriptがJavaScriptの使用率を超えて初めて1位に。

2段階以上順位UPしているのは、Python(データ分析・機械学習系)、Dart(Flutter)、Rust

## 設問
























現在、主に業務で使用している言語・技術を最大3つまでご選択ください(必須)

順位 (前回比)	言語	比率	順位 (前回比)	言語	比率
1(↑1up)	 TypeScript	40.0%	13(→stay)	 Swift	4.9%
2(↓1down)	 JavaScript	34.4%	13(↓3down)	 C++	4.9%
3(→stay)	 PHP	17.4%	15(↓3down)	 C	2.6%
3(→stay)	 Python(Webサービス開発系)	17.4%	16(→stay)	 Scala	2.0%
5(↑1up)	 Go	14.4%	17(→stay)	 Objective-C	1.6%
6(↑2up)	 Python(データ分析・機械学習系)	13.4%	18(↑1up)	 Perl	1.3%
7(→stay)	 Ruby	13.1%	19(↓2down)	 Python(ブロックチェーン系)	0.7%
8(↓4down)	 Java	12.5%	19(↑1up)	 R	0.7%
9(→stay)	 C#	8.2%	21(↓3down)	 Solidity	0.3%
10(↑3up)	 Dart(Flutter)	6.9%	22(→stay)	 Elixir	0.0%
11(→stay)	 Kotlin	6.6%	22(→stay)	 Vyper	0.0%
12(↑3up)	 Rust	5.2%	-	その他	8.2%

## 前回調査と比較してもGo、TypeScript、Rustに引き続き高い興味が集まっている

### 設問

今後習得または強化したい言語・技術を最大3つまでご選択ください(必須)









順位 (前回比)	言語	比率	順位 (前回比)	言語	比率
1(→stay)	 Go	42.0%	13(→stay)	 C#	3.9%
2(→stay)	 TypeScript	38.7%	13(↑4up)	 Solidity	3.9%
3(→stay)	 Rust	33.1%	15(↓5down)	 PHP	3.3%
4(→stay)	 Python(データ分析・機械学習系)	20.3%	16(↑2up)	 Scala	2.3%
5(→stay)	 JavaScript	16.4%	16(→stay)	 Elixir	2.3%
6(↑1up)	 Dart(Flutter)	13.8%	16(↓3down)	 C++	2.3%
7(↓1down)	 Python(Webサービス開発系)	11.5%	19(→stay)	 R	2.0%
8(↑1up)	 Ruby	10.2%	20(↓1down)	 C	1.0%
9(↓1down)	 Kotlin	9.2%	21(→stay)	 Vyper	0.3%
10(↑1up)	 Swift	6.2%	22(↓1down)	 Perl	0.0%
11(↑4up)	 Java	5.2%	22(↑1up)	 Objective-C	0.0%
12(↓1down)	 Python(ブロックチェーン系)	3.9%	-	その他	4.9%



Python(データ分析・機械学習系)が792.1万円で前回から約60万円UPで1位  
Go、TypeScript、Rubyも前回調査に続き700万円以上の高い水準を維持

## 設問

今後習得または強化したい言語・技術を最大3つまでご選択ください(必須)

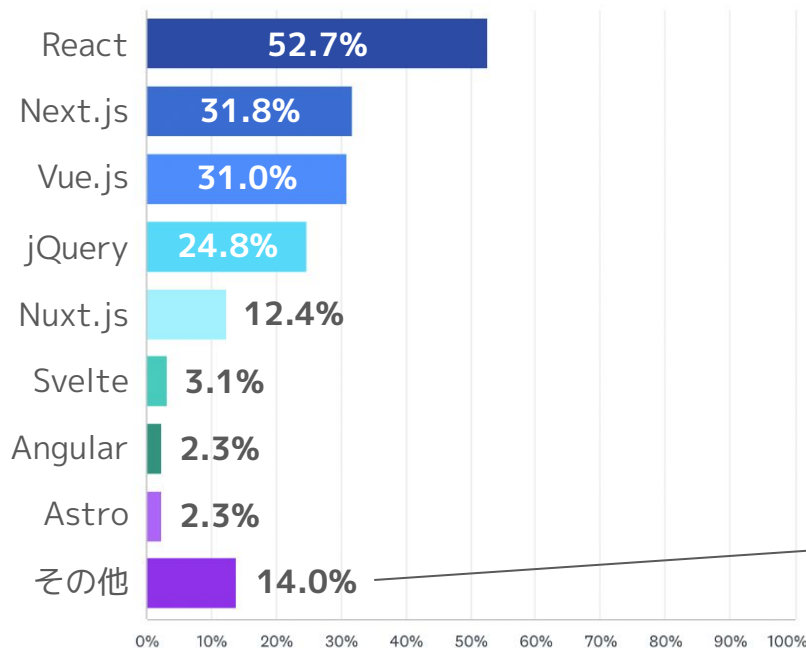
順位(前回比)		言語	平均年収	2023年2月調査時の平均年収
1(↑1up)		Python(データ分析・機械学習系)	792.1万円	732.5万円
2(↓1down)		Go	734.1万円	841.3万円
3(↑5up)		Java	721.1万円	594.1万円
4(→stay)		TypeScript	718.2万円	715.2万円
5(→stay)		Python(Webサービス開発系)	705.7万円	646.2万円
6(↓3down)		Ruby	703.8万円	716.4万円
7(↓1down)		JavaScript	651.2万円	614.5万円
8(↓1down)		PHP	598.6万円	607.8万円

Note：利用言語・技術において回答がn=30以上あったものに限定して、p12の年収調査結果とクロス分析を実施。平均年収は各選択肢別に想定年収を設定(例:300～350万円⇒325万円)して加重平均にて算出

## 2023年2月調査と比較してReactの利用率が約10%UP

### 設問

JavaScript、TypeScriptを選択した方へお聞きします。  
使用しているフレームワークやライブラリなどをお答えください（必須、複数回答可）



### 前回調査との比較

#### 【2023年2月調査】

- React : 43.4%
- Vue.js : 31.4%
- jQuery : 36.6%
- Angular : 7.4%

※今回調査よりNode.jsを「習得・強化したいランタイム」の設問に移行。新規選択肢として「Next.js」「Nuxt.js」「Astro」「Svelte」を追加

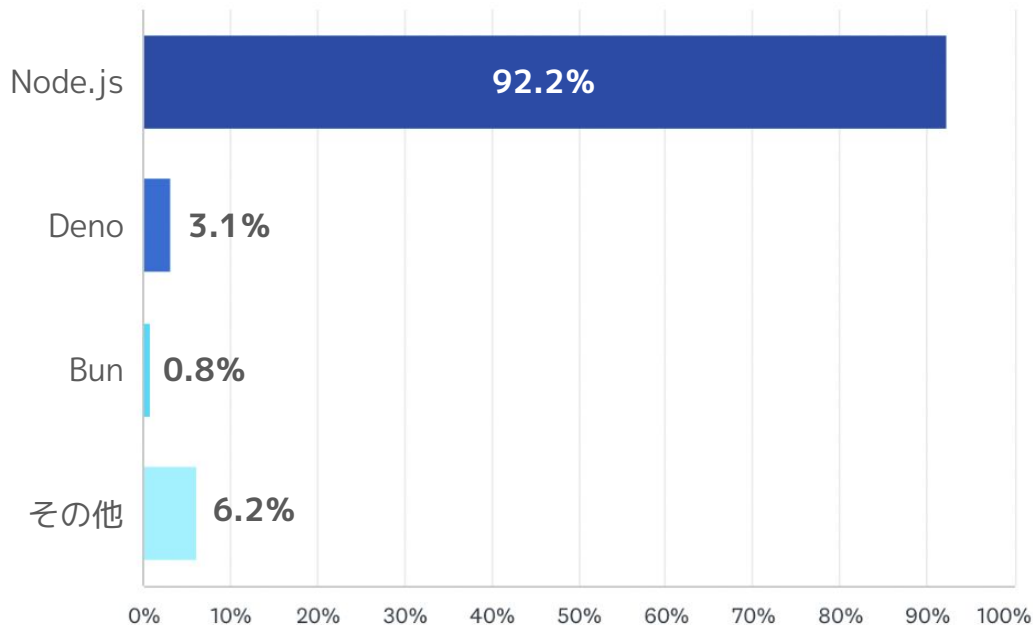
複数見られた回答としては「NestJS」「Express」などNode.jsのフレームワークの名前が挙がった

※p47で「JavaScript」「TypeScript」と回答した方を対象(n=129)

## ランタイム利用率はNode.jsが92.2%で1位

### 設問

JavaScript、TypeScriptを選択した方へお聞きします。  
使用しているランタイムをお答えください（必須、複数回答可）



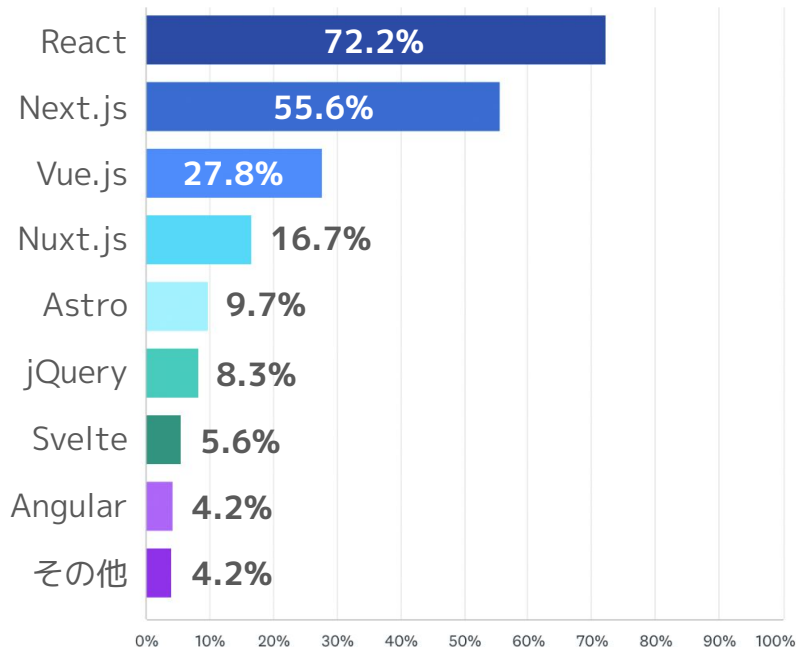
※p47で「JavaScript」「TypeScript」と回答した方を対象(n=129)

## 前回調査から引き続き、Reactの習得・強化ニーズが高い傾向にある

### 設問

JavaScript、TypeScriptを選択した方へお聞きします。

習得または強化したいフレームワークやライブラリなどをお答えください（必須、複数回答可）



### 前回調査との比較

#### 【2023年2月調査(※)】

- React : 82.1%
- Vue.js : 35.8%
- jQuery : 14.2%

※今回調査よりNode.jsを「習得・強化したいランタイム」の設問に移行。新規選択肢として「Next.js」「Nuxt.js」「Astro」「Svelte」を追加

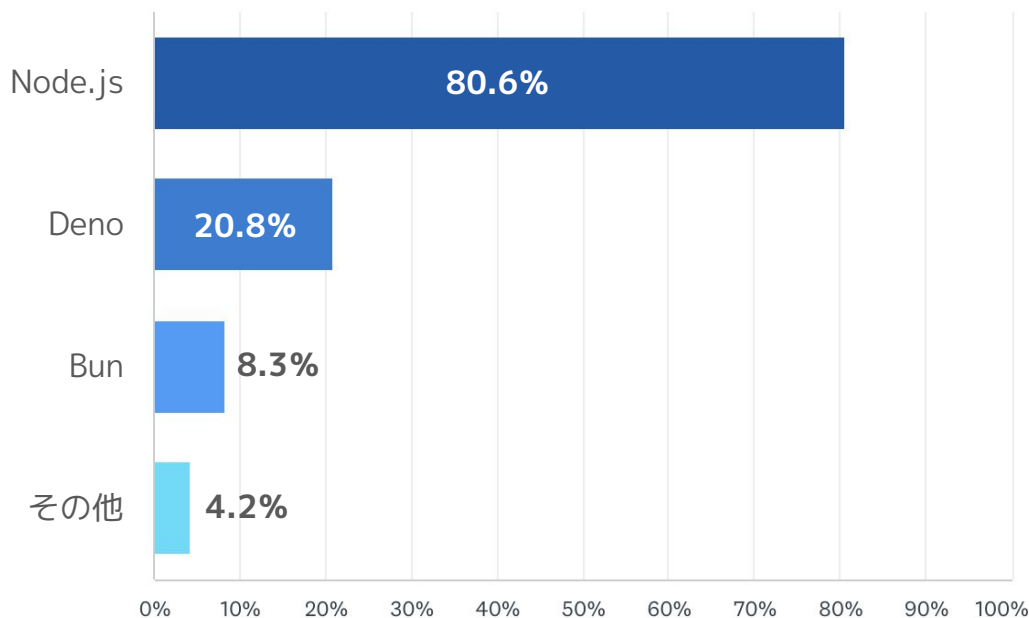
※p47で「JavaScript」「TypeScript」と回答した方を対象(n=129)

## 習得・強化ニーズでもNode.jsが80.6%で1位

DenoやBunは利用率と比較すると習得・強化したい割合がやや高い傾向にある

### 設問

JavaScript、TypeScriptを選択した方へお聞きします。  
習得または強化したいランタイムをお答えください（必須、複数回答可）







※p47で「JavaScript」「TypeScript」と回答した方を対象(n=129)

## JavaScript、TypeScript利用者の利用技術別平均年収ではNext.jsが689.0万円で最も高い 2023年2月調査との比較ができるReactやVue.jsを見ると平均年収は上昇傾向にある

## 設問

JavaScript、TypeScriptを選択した方へお聞きします。  
使用しているフレームワークやライブラリなどをお答えください（必須、複数回答可）

順位（前回比）	技術	平均年収	2023年2月調査時の平均年収
1(new)	 Next.js	689.0万円	-
2(↓1down)	 React	676.1万円	651.1万円
3(→stay)	 Vue.js	662.1万円	548.8万円
4(new)	 jQuery	644.5万円	-

※p47で「JavaScript」「TypeScript」と回答した方を対象(n=129)

Note：利用技術において回答がn=30以上あったものに限定して、p12の年収調査結果とクロス分析を実施。平均年収は各選択肢別に想定年収を設定(例:300～350万円⇒325万円)して加重平均にて算出。  
「Next.js」は今回調査より新設の選択肢のため、またjQueryは前回調査の回答数がn=30を超えていなかったため、2023年2月調査時の平均年収データがなしとなっている

## 07 編集後記



## エンジニア転職市場の定点観測をし続けることによる回答結果の変化が、技術発展の影響や時代のトレンドを映した"示唆"となり、新たな気づきを与えてくれる

いつもFindyをご利用いただきまして、ありがとうございます。今回の調査も数多くのエンジニアの皆様にご回答いただき、非常に興味深い調査結果を得ることができました。ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

私がエンジニア転職マーケットレポートの制作に携わるようになったのが2022年2月。今回で合計4回目となりますが、全4回で同じ設問であっても回答結果が変わってきた部分が随所で見られ、調査のたびに毎回新しい気づきが得られています。

例えば、2022年2月のレポートではエンジニアの平均年収は599万円という調査結果になっていましたが、今回の調査では682.8万円まで平均年収が上昇しております。アンケートの特性上、同一対象者のみの回答結果を収集できていないわけではないので、調査回によってある程度のばらつきは生じるわけですが、それでも全4回の調査の中で平均年収が右肩上がりになっていて、なおかつ80万円近くも上がっているという結果は注目できると思います。

また、4回のレポートを制作する中で、技術面でも大きな進歩が見られました。例えば、ChatGPTをはじめとした生成AIの著しい技術発展。生成AIを活用した新たなサービスが生まれるだけに留まらず、開発の在り方やエンジニアのキャリア観にも大きな影響を与えた出来事となったのではないのでしょうか。直接的な因果関係はまだ不明ですが、今回のレポートでも「興味のあるキャリアパス」の設問において、「技術スペシャリスト」がやや比率を下げて「組織マネージャー」が比率を上げたことも、生成AI関連の技術がエンジニアのキャリア観に影響を与えたと仮説立てることもできます。

こうした技術の発展や時代のトレンドが回答結果に反映され、定期的な調査によって新しい気づきが得られるのがエンジニア転職マーケットレポートの魅力だと感じています。Findyでは今後もエンジニアの転職市場を定点観測し、エンジニアの皆様のキャリアにとって有益な情報を発信してまいりますので、引き続きFindyにご注目いただけますと幸いです。

### レポート制作 編集者紹介



#### ファインディ株式会社 竹内 勇稀

大手人材サービス企業2社で約6年にわたり、2000以上の求人制作・採用支援に携わった後、Findyにジョイン。カスタマーサクセスを経験後、エンジニア採用に関する企画・調査・分析、コンテンツ制作、toCマーケティングを担当。